



THE DISCLOSURE OF THE
**SHONAN
SHINKIN**
BANK 2026



湘南しんきん
ディスクロージャー

ごあいさつ

2025年度の日本経済は、緩やかながらも回復基調で推移しました。良好な企業業績を背景に設備投資は増加したほか、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移しました。

金融市場を見ると、日経平均株価は米国の関税措置に伴う景気後退懸念を背景に一時的に落ち込む場面も見られましたが、その後、同措置の緩和や新政権への期待、旺盛な半導体関連事業によって株式市場が活況となり2026年2月には当時最高値となる58,850円を記録しました。しかし、中東情勢の悪化によって世界経済の減速感が強まったことから、3月末は51,063円で着地しました。また、長期金利の代表的な指標である10年物国債の利回りは、物価の上昇や日本銀行による金融政策の見直し等を受けて上昇基調で推移し、3月末は2.366%となりました。

当金庫は、地域経済を取り巻く環境が変化する中においても、「地域に寄り添うパートナー」としての役割を果たすべく、お客さまへの支援を強化してまいりました。事業者のお客さまには、資金繰りの改善や事業の成長など、多様な経営課題に対し伴走支援で取り組んでおります。個人のお客さまには、暮らしの安心と将来設計を支える金融サービスの充実を図り、住宅取得や教育資金、老後の備えなど、生活に密接に関わるニーズに応じた提案を進めております。その結果、2026年3月末は、預金積金が1兆3,351億円、貸出金が7,755億円といずれも過去最高残高を更新しました。また、2025年度決算は業務純益53億円、当期純利益32億円を計上することができました。皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。

当金庫は、信用金庫の根幹である「相互扶助」の理念を大切にしながら、積み重ねてきた信頼と実績をこれからも丁寧に育んでまいります。日々の業務を通じて地域の皆さまの笑顔に繋がる取り組みを進められるよう、職員一同努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

地域と共に成長を続ける「湘南しんきん」へのご理解をより一層深めていただくために本ディスクロージャー誌を作成しました。ご高覧をいただき、当金庫を身近に感じていただけたら幸いです。



2026年7月

湘南信用金庫

理事長 鷺尾 精一



2025年度決算概況

預金積金は、主に個人預金が増加し期末残高は前期末比83億円増加の1兆3,351億円となりました。貸出金は、事業性融資、地域のお客さま向けのフリーローン等に注力し、期末残高は同16億円増加の7,755億円となり、ともに過去最高残高を更新しました。

収益は、貸出金利息が短期プライムレート改定等により、前期末比16億58百万円増加の151億62百万円となりました。余剰資金運用利息は、資金の効率的かつ安全な運用を行った結果、同10億56百万円増加の34億8百万円となりました。この結果、業務収益は同28億47百万円増加し、206億81百万円となりました。

これに対し、預金利息は、店頭表示金利の一部引上げ、夏のキャンペーン定期預金の販売により、前期比18億71百万円増加し29億64百万円となりました。また、国債等債券売却損は、前期と同様に市場金利上昇による含み損拡大の予防、また保有する有価証券のメンテナンスを目的として金利の低い債券を売却した結果、同17百万円減少の10億34百万円となりました。

物件費は、福利厚生の拡充やシステム利用料の増加等により前期比1億2百万円増加、人件費は職員数の減少等により同55百万円減少、税金を含めた経費全体は同1億円増加し、99億93百万円となりました。

また、一般貸倒引当金は、貸倒実績率の低下により前期比63百万円減少し1億13百万円の戻し入れとなりました。この結果、業務費用は同18億64百万円増加し、152億88百万円となりました。

以上により、業務純益は、前期比9億82百万円増加の53億93百万円、コア業務純益は同9億円増加の63億15百万円となりました。また、当期純利益は同横ばいの32億18百万円となりました。

DATA

- 常勤役職員数：667人
 - 店舗数：47店舗
 - ローンセンター：2カ所
 - 店舗外ATM：28カ所
- (2026年3月31日現在)

INDEX

ごあいさつ	
2025年度決算概況	1
経営理念	2
業績ハイライト2025	4
トピックス	6
地域活性化への取り組み	8
文化的・社会的な地域貢献活動	9
地域密着型金融の取組状況	10
「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み	12
ジュニアボード活動～次世代を担う若手職員の取組み～	13
総代会	14
内部管理態勢・リスク管理態勢	16
法令等遵守態勢、マネロン・テロ資金供与対策に係る態勢整備、顧客保護等管理態勢、金融ADR制度への対応	18
組織	19
経営体制	20
湘南しんきんのあゆみ	21
事業内容・信用金庫と銀行との違い	22
主な手数料	23
店舗一覧	24

- 本資料に掲載されている計数は、特に表示のない限り、単位未満を切り捨てて表示しています。
- 利回等については原則として小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また、構成比については原則として小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。
- 該当計数はあるが単位未満の場合は「0」を表示しています。また、該当計数がない場合には「－」を表示しています。

「計数編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、「計数編」を作成しています。「計数編」は、当金庫ホームページにてご覧いただけます。

湘南しんきん

検索



経営理念

湘南しんきんのミッション

- 永遠のテーマ **つくろう わが街 果たそう 役割**
- お客さまへのテーマ **街にいい風 あなたにいい風**

湘南しんきんのビジョン

- あるべき姿

**地域と共に成長し、
みんなを笑顔にする信用金庫**

私たちの仕事の一つひとつは、みんな（お客さま、役職員等とその家族、当金庫に関わる全ての方々）を笑顔にすることに繋がっており、「笑顔」という共通の目標に向かって働くことで、役職員等の一体感を育みます。笑顔が地域社会、お客さま、職員の持続可能な未来の確立に繋がるというマインドを定着化させ、笑顔の成功循環モデルの構築を目指します。

湘南しんきんのバリュー

- 行動指針 **靴底減らし 耳傾け 汗流し
知恵絞り そして感謝する**

現場を第一に、靴底を減らしてお客さまとの接点を増やし、地域の声に耳を傾け、“地域と共に”、“お客さまと共に”汗を流し、お客さまのために知恵を絞って、感謝の気持ちを忘れずこれからも全力で役職員一同業務に邁進していきます。

会員をはじめとする利用者の皆さまの利便性向上を図るため、地域金融機関としての専門性を生かし、地域社会における高度な金融サービスの提供に努めています。また、地域社会の一員として、地域のさまざまな行事や活動に積極的に参加し、地域金融機関としての役割とは何かをしっかりと見極め、地域の発展に寄与していきたいと考えています。

これからも、皆さまからいただいている信頼を支えに、公共的な総合金融サービス業の地位を一層強固にし、お客さまの目線にたって、地域社会の活性化に力を注いでいくことが当金庫に課せられた社会的使命であると考えています。



● 笑顔の成功循環モデル



● 基本姿勢 (ベーシック・スタンス)

BEST

Balance
バランス

Energy
エナジー

Speed
スピード

Timing
タイミング

を尽くす

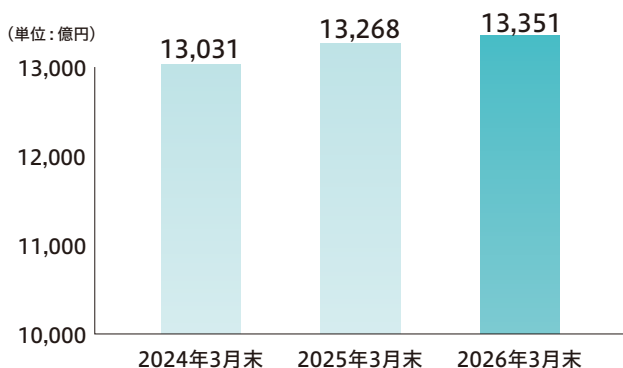
物事の本質を見極め、均衡をとりながら、力強さとスピード感を持ち、機を見て果敢に行動し、大きな力を地域貢献のために生み出していきます。

業績ハイライト 2025

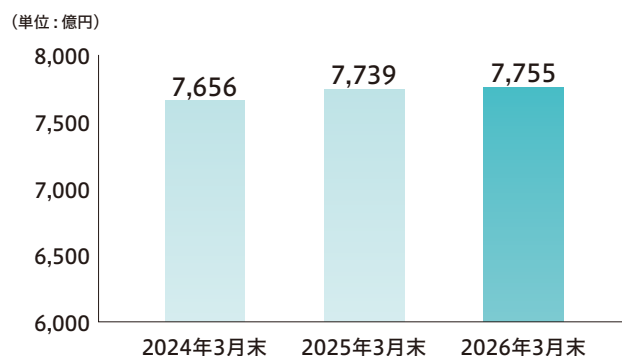
(1) 預金・貸出金の状況

2026年3月末の預金積金残高は、主に個人預金が増加し、前期末比83億円増加の1兆3,351億円となりました。貸出金残高は、事業性融資や個人向けのフリーローンへの取り組み等により、同16億円増加の7,755億円となり、預金、貸出金ともに過去最高残高を更新しました。

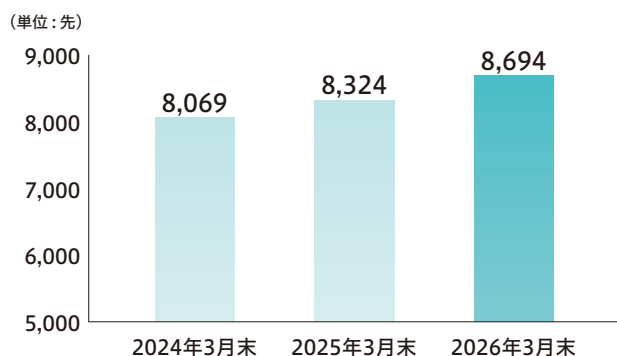
▼ 預金積金残高



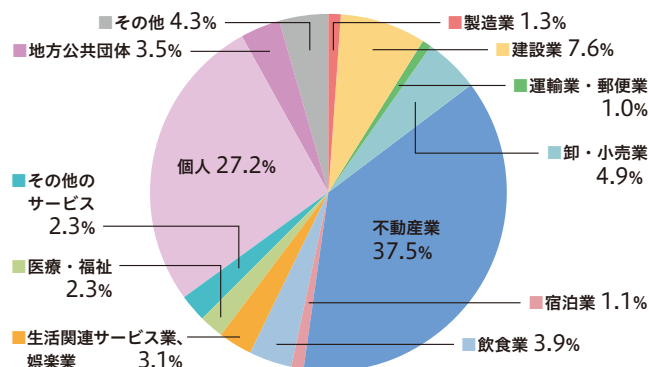
▼ 貸出金残高



▼ 法人貸出先数



▼ 貸出金業種別内訳

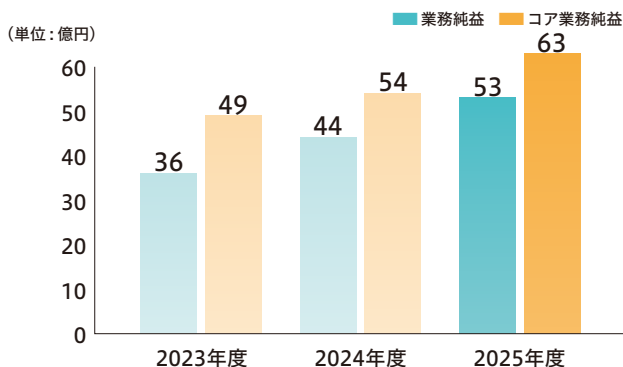


(注) 増減は表上の数値による計算結果を表示しています。

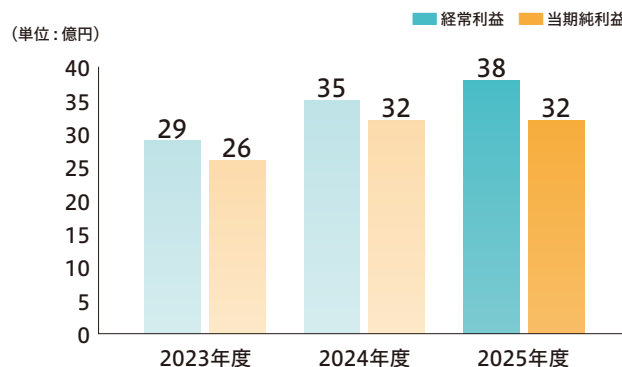
(2) 損益の状況

2025年度の本業の収益力を示すコア業務純益は、前期比9億円増加の63億円、臨時収益・臨時費用（不良債権の引当など）を加減算した経常利益は同3億円増加の38億円、特別利益・特別損失を加減算し、税金などを差し引いた当期純利益は同横ばいの32億円となりました。

▼ 業務純益・コア業務純益



▼ 経常利益・当期純利益

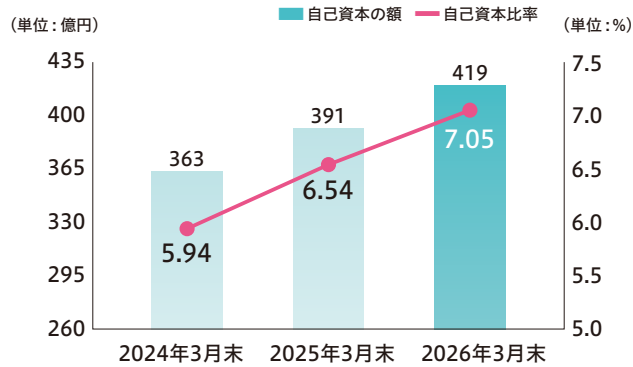


(注) 増減は表上の数値による計算結果を表示しています。

(3) 自己資本の状況

2026年3月末の自己資本比率は、前期末比0.51ポイント上昇し7.05%となりました。継続的な収益確保により利益剰余金が堅調に増加しており、財務の健全性を確保しています。

▼ 自己資本の額・自己資本比率



	2026年3月末
自己資本の額 (A)	419億円
リスク・アセット等 (B)	5,941億円
自己資本比率 (A) / (B)	7.05%

(注) 自己資本比率は、円単位による計算結果を表示しています。

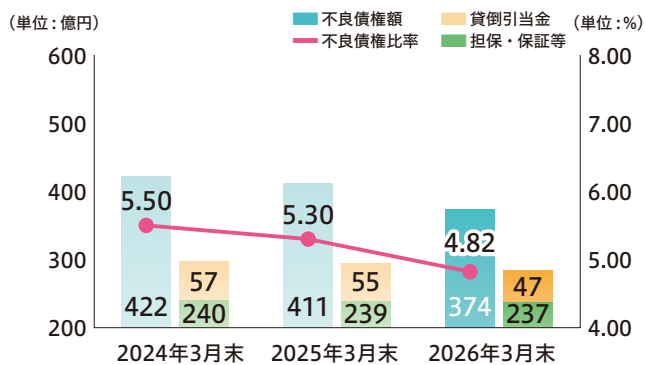
用語の説明

● 自己資本比率は、地域のお客さまからの出資金および過年度の利益を元とした利益剰余金等に構成される自己資本の額を分子とし、分母となるリスクアセット等（リスクのある貸出金や有価証券等の資産リスクの大きさに応じて再評価した資産金額）に対する割合のことで、経営の健全性を示す重要な指標であり、国内基準は4%とされています。

(4) 不良債権の状況

2026年3月末の不良債権額は、前期末比37億円減少の374億円となりました。これにより、不良債権比率は同0.48ポイント低下し4.82%となりました。

▼ 不良債権額・比率／担保・保証等、貸倒引当金



	2026年3月末
正常債権 (A)	7,394億円
不良債権 (B)	374億円
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	111億円
危険債権	258億円
要管理債権	4億円
三月以上延滞債権	1億円
貸出条件緩和債権	2億円
合計 (C) = (A) + (B)	7,769億円
不良債権比率 (B) / (C)	4.82%
担保・保証等	237億円
貸倒引当金	47億円

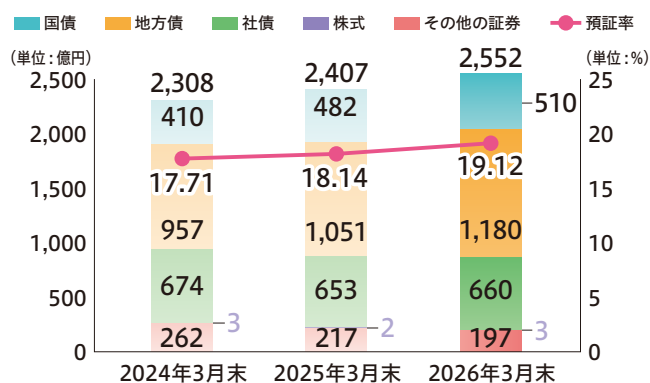
(注) 1.不良債権比率は、円単位による計算結果を表示しています。

2.貸倒引当金は、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しています。

(5) 有価証券の状況

2026年3月末の有価証券残高は、前期末比145億円増加の2,552億円となりました。国債、地方債、格付の高い社債等を中心に安全性を重視した有価証券運用を行っています。

▼ 有価証券内訳／預証率



	2026年3月末
国債	510億円
地方債	1,180億円
社債	660億円
株式	3億円
その他の証券	197億円
合計 (A)	2,552億円
預金積金残高 (B)	13,351億円
預証率 (A) / (B)	19.12%

(注) 預証率は、円単位による計算結果を表示しています。

TOPIC

1

ビジネスカジュアルを導入しました

社会意識の変化や職員の多様性・自立性を尊重し、「仕事はスーツ」といった固定観念にとらわれない柔軟な発想や行動を促し、新たな組織風土の醸成を図ることを目的に「ビジネスカジュアル」を導入しました。

お客さまや職員からは、「見た目も雰囲気も明るくなった」「季節感のある服装で気分も変わった」との声が寄せられています。

今後も職員が能力を最大限発揮できる職場づくりを進め、当金庫のあるべき姿「地域と共に成長し、みんなを笑顔にする信用金庫」を目指してまいります。



TOPIC

2

茅ヶ崎市と連携協定を締結しました

茅ヶ崎市と「持続可能な地域づくりに関する連携協定」を締結しました。「次世代の人財育成」「産業振興」「地域のにぎわい創出」をテーマに、互いの次世代を担う職員の交流を通して市民生活の充実や地域経済の発展を後押しする取り組みを進めています。

当金庫が主催する「茅ヶ崎フェスティバル」では、当日行う催しを両者の職員が企画しました。同市とこれまで以上に連携を深め、地域のより良い未来づくりに貢献してまいります。



TOPIC

3

小山支店の名称を東京営業部へ変更しました

小山支店を東京営業部へ名称を変更しました。培ってきた地域やお客さまとのつながりを大切に、より質の高いサービスを提供することを目指し、お客さま一人ひとりに寄り添ったご提案やご支援が行えるよう、職員一同さらなる研鑽を重ねてまいります。



TOPIC

4

災害用備蓄食料品を寄贈しました

特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川は、フードバンクや子ども食堂を支援するため、賞味期限が残っているにも関わらず廃棄せざるを得ない食料品の寄贈を企業等へ呼びかけています。当金庫はこの活動に賛同し、災害用備蓄食料品を寄贈しました。



TOPIC
5

湘南ビジネスダイレクトアプリの 取扱いを開始しました

お客さまの利便性向上のため、湘南ビジネスダイレクトの契約者を対象としたスマートフォン向けの「ビジネスダイレクトアプリ」の取り扱いを開始しました。今後も、より一層便利にご利用いただけるよう、商品・サービスの充実を図ってまいります。

TOPIC
6

サイバーインシデント対策の 演習に参加しました

(株) しんきん情報システムセンターが主催するサイバーセキュリティ演習に参加しました。演習ではインシデント発生時の初動やお客さま対応、復旧対応等の業務継続に関する対応について確認しました。当金庫に必要なサイバーセキュリティを確保し、お客さまに安心してご利用いただける体制を整えてまいります。

TOPIC
7

第66回関東地区信用金庫野球大会で 優勝しました

第66回関東地区信用金庫野球大会に出場し、歴代最多となる12回目の優勝を飾りました。2日間に渡って行われた大会には、多くの役職員が応援に駆け付けました。選手の懸命なプレーに声援と拍手を送り、優勝の喜びを一緒に分かち合うことができました。

TOPIC
8

「ホスピタリティ向上」に努めています

ホスピタリティのさらなる理解と向上を目的として、「ホスピタリティ向上研修」を実施しました。定義を再認識し、グループディスカッションを通じて能力の向上を図りました。今後もホスピタリティの精神を忘れることなく、付加価値の高い金融サービスを提供してまいります。



SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2030年に向け、持続可能な世界を実現するため、2015年9月の国連サミットで採択された全世界で取り組むべき17の目標です。

当金庫はこれまで地域の持続的な発展に向けて、地域活性化や地域貢献活動等に積極的に取り組んできましたが、SDGsの理念と軌を一にするものと捉え「湘南しんきんSDGs宣言」を公表しております。

引き続き、地域やお客さまの課題解決に取り組み、SDGsが目指す「持続可能な社会」の実現に努めてまいります。

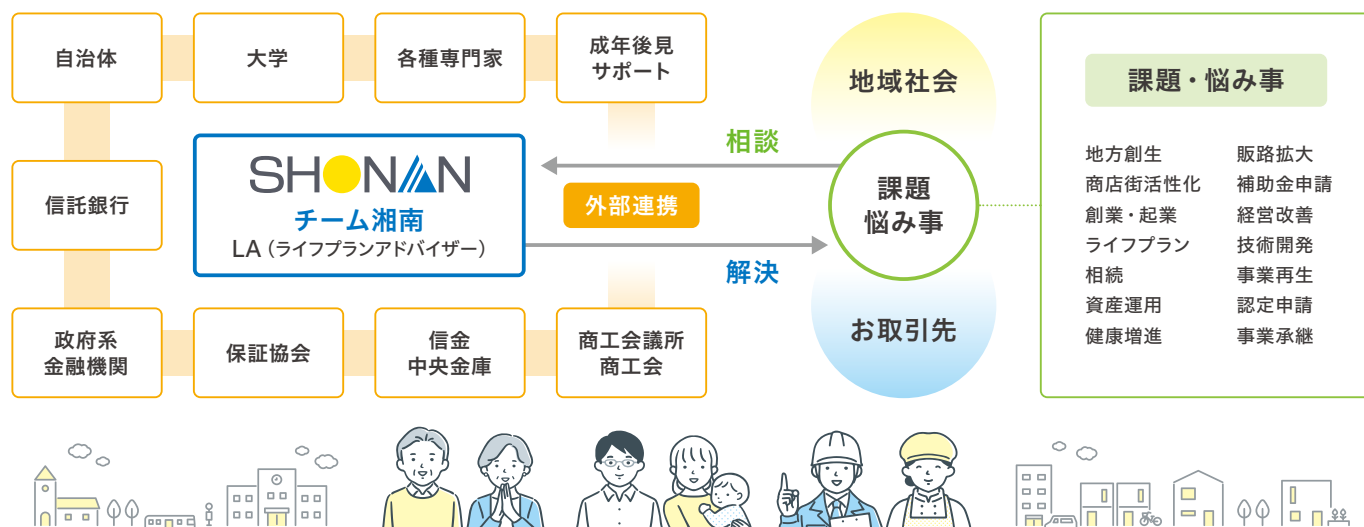
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



ACTIVITY

1

地域活性化への取組み



1 地域の事業者の新たな挑戦を支援しています

本部・営業店が一体となり、服飾関連事業者のビジネスプランの策定を支援しました。同プランは、最新の機器やデジタル技術により商品の拡充・魅力発信を行うもので、自治体主催のコンテストで金賞を受賞しました。これからも皆さまの前向きな一歩を全力でサポートしてまいります。



2 家族信託の取次業務を開始しました

家族信託は、お客さまの大切な財産の管理を信頼できる家族に託し、ご自身とご家族の生活を守る仕組みです。認知症の発症に備える手段の一つとして、活用が期待できます。「チーム湘南」がご相談を承りますので、お気軽にお問い合わせください。



3 地域の防災活動を支援しています

大規模災害への備えや発生時の支援を行うため、横須賀市自主防災組織連絡協議会と防災協定を締結しました。市内での局地的な災害発生時に店舗網を活用し、備蓄品の供給や職員の応援等により迅速な復興につながる支援を行います。



4 神奈川県信用保証協会から感謝状を贈呈されました

神奈川県信用保証協会が推進する「創業保証」「協会独自制度の推進」に貢献したとして、同協会から感謝状を贈呈されました。創業を目指す方々や中小企業の事業成長を、各種外部機関と幅広く連携しながら力強く支援してまいります。



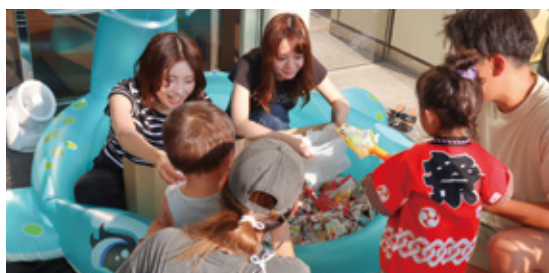
ACTIVITY

2

文化的・社会的な地域貢献活動

1 地域行事へ積極的に参加しています

地元商店街で開催されたイベントに参加しました。営業店は模擬店を開き、好天のもと訪れる子どもたちや商店街の皆さまと楽しい時間を共有することができました。これからも地域の方々とのふれあいを大切に、地域の活性化に貢献してまいります。



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリングで目標を達成しよう



職員は、地域の町内会が実施している健民運動会に参加しました。綱引きや町内対抗リレーなどの競技に、職員は地域の皆さまと一緒に全力で挑みました。競技を通じて多くの方と交流が生まれ、地域とのつながりをより深める貴重な機会となりました。



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリングで目標を達成しよう



2 安心・安全なまちづくり

多発する特殊詐欺防止のため、窓口やATMコーナーでの積極的な声掛けやインターネットバンキングでの出金限度額の制限等、様々な対策を実施しています。お客さまの大切なご預金を守るために、今後も警察と協力して被害の防止に努めてまいります。



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリングで目標を達成しよう



「信用金庫の日」の社会貢献事業として、献血事業・募金活動を行いました。献血事業では、職員が献血バスに足を運び採血を行いました。募金活動では全部室店から多くの善意が寄せられ、両活動を通じて社会貢献活動の大切さを改めて認識しました。



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナリングで目標を達成しよう



3 次世代の教育活動に取り組んでいます

学生に金融機関を身近に感じてもらう取り組みの一環として、神奈川大学で金融教育を実施しました。J-FLEC（金融経済教育推進機構）と共催で実施し、社会人として知っておきたいお金の話や株式市場の推移などについて講義を行いました。質疑応答も活発に行われ、学生の関心の高さも伺えました。



4 質の高い教育をみんなに



17 パートナリングで目標を達成しよう



地域の中学校より、進路学習の授業で当金庫職員が講師として招かれました。職員からは「働くことの意義」や「仕事と家庭の両立」について実体験に基づき授業を行いました。生徒たちは真剣にメモを取るなどして聞き入り、地域貢献として意義のある授業を行うことができました。



4 質の高い教育をみんなに



17 パートナリングで目標を達成しよう



ACTIVITY

3

地域密着型金融の取組状況（2025年4月～2026年3月）

当金庫では、地域に根差した金融機関として「つくろう わが街 果たそう 役割」を永遠のテーマとし、皆さまとともに発展していくことを基本理念に、「地域密着型金融」を推進しています。ここでは「地域密着型金融の取組状況」と合わせて金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる「金融仲介機能のベンチマーク」を公表いたします。引き続き「地域に寄り添うパートナー」として地方創生・地域社会発展のために全力を注いでいきます。

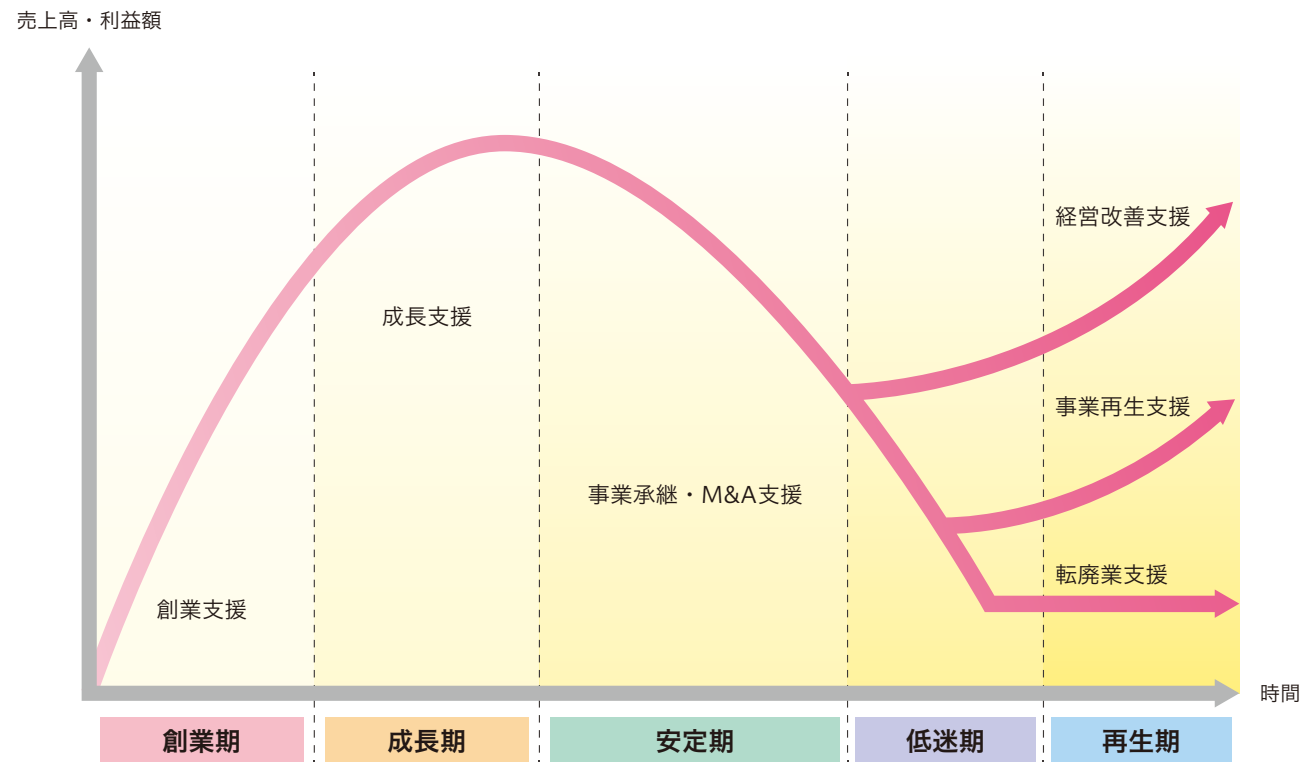
【1】当金庫がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率）の改善や就業者数の増加が見られた先数および、同先に対する融資額の推移

	2025年3月末	2026年3月末
メイン先数	4,806先	4,840先
メイン先の融資残高	3,282億円	3,266億円
うち経営指標等が改善した先数	2,191先	2,253先
うち経営指標等が改善した先の融資残高	2,370億円	2,412億円

【2】ライフステージ別の与信先数および融資額

		合計	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	2025年3月末	10,482先	1,435先	1,456先	3,744先	517先	526先
	2026年3月末	10,676先	1,772先	1,460先	3,648先	478先	543先
融資残高	2025年3月末	5,241億円	312億円	1,332億円	2,267億円	267億円	476億円
	2026年3月末	5,252億円	381億円	1,340億円	2,218億円	270億円	485億円

各企業のライフステージにそった当金庫の役割



ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援融資

当金庫では、地域やお客さまが抱える課題等を解決する専門部署「チーム湘南」を設置し、創業・新事業等のご相談を承っています。

また、外部機関との連携を密にし、情報交換会や勉強会を開催、ビジネスマッチングや各種認定・補助金の申請支援等にも力を入れています。

創業・新事業支援融資実績

2024年度	885先
2025年度	806先

経営改善・事業再生支援

当金庫では、お取引先の経営改善・事業再生を支援するため、専担部署を設置しています。同部署では、営業店との連携に加え、税理士・公認会計士等の外部専門家や信用保証協会・政府系金融機関・中小企業活性化協議会等の外部機関とも連携し、支援活動を行っています。

特に支援の必要性が高いお取引先を経営改善支援先と定め、業況の把握や資金繰り相談のほか、ビジネスモデルの再構築や財務基盤の改善に対する助言、経営改善計画の策定支援、定期的なモニタリングによる伴走支援に取り組むなど、物価高騰・人手不足・後継者問題等を踏まえたお取引先の支援を行っています。

専担部署による経営改善支援先

2024年度	100先
2025年度	108先

【3】販路開拓支援を行った先数

2024年度	2025年度
83先	67先

【4】事業承継支援先数

2024年度	2025年度
41先	55先

【5】創業支援先数

	2024年度	2025年度
①創業計画の策定支援先数	24先	31先
②創業期の取引先への融資先数	(プロパー)	148先
	(信用保証付)	737先
③政府系金融機関や創業支援機関の紹介先数	7先	17先

【6】本業支援に関する研修等を実施した回数、参加者数および資格取得者数

	2024年度	2025年度
①研修実施回数	38回	27回
②参加者数	669人	483人
③資格取得者数（中小企業診断士）	11人	11人

【7】外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数

2024年度	2025年度
14先	14先

【8】本業支援に関する中小企業支援策の活用を支援した先数

2024年度	2025年度
33先	30先

【9】中小企業与信先のうち、無担保与信先数および無担保融資額の割合

	2025年3月末	2026年3月末
中小企業与信先数①	10,482先	10,676先
中小企業向け融資残高②	5,241億円	5,252億円
無担保融資先数③	7,054先	7,300先
無担保融資残高④	859億円	875億円
③／①	67.2%	68.3%
④／②	16.3%	16.6%

【10】中小企業与信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合

	2025年3月末	2026年3月末
中小企業与信先数①	10,482先	10,676先
根抵当権未設定先数②	7,815先	8,045先
②／①	74.5%	75.3%

【11】中小企業与信先のうち、事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資残高の割合

	2025年3月末	2026年3月末
与信先数	60先	67先
融資残高	55億円	55億円
中小企業与信先数に占める割合	0.5%	0.6%
中小企業与信残高に占める割合	1.0%	1.0%

(注) 与信先数および融資残高は、当金庫独自の「事業性評価シート」に基づき融資を実行した先の期末先数・残高

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入や保証債務整理のご相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を以下のとおり策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

(1) 経営者保証に関する取組方針

経営者保証に関する取組方針

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着させていくために、以下のとおり取り組みます。

- ▶ お客さまが融資等資金調達のお申込みをした場合、当金庫では、お客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法（一定の金利の上乗せ等）を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
- ▶ 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
- ▶ 経営者保証を提供いただく場合、お客さまの資産及び収入の状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。
- ▶ お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
- ▶ 事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととし、例外的に二重に保証を求めることが必要な場合には、丁寧かつ具体的な説明を行います。
また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。
- ▶ お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

(2) 「経営者保証に関するガイドライン」への取組状況

	2024年度	2025年度
新規に無保証で融資した件数	1,368件	1,430件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	22.3 %	25.4 %
保証契約を解除した件数	48件	69件

※「保証債務整理」については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づくお申し出はありませんでした。

経営者保証に関するガイドラインの活用先数および、全与信先数に占める割合

	2025年3月末	2026年3月末
全与信先数①	10,482先	10,676先
ガイドライン活用先数②	790先	817先
②／①	7.5 %	7.6 %

～次世代を担う若手職員の取組み～

当金庫では、普段の業務では得られない経験を通じて、若手・中堅職員の成長や経営への参画意識を高めることを目的に「ジュニアボード活動」を行っています。入庫5年目から10年目までの職員の中からメンバーを選び、座学研修や外部企業への訪問研修などを通じて知見を深め、その成果を経営陣へ提言しています。これまでに3期の活動を重ねてきました。その活動をご紹介します。

第1期

人事制度に焦点をあて、「人事考課」や「人事異動」をテーマに活動しました。当金庫の現状や他企業の事例を多角的に調査・分析し、その成果を報告書にまとめました。「制度は構築するだけでなく、職員一人ひとりの意識改革によってこそ機能する」という考えをもとに、導入すべき制度を提案。実際に採用された制度もあり、メンバーにとっても“自分たちに何ができるか”を考える貴重なきっかけとなりました。



第2期

「お客さまや地域に必要とされ、職員が誇りをもって働ける信用金庫を目指す」をテーマに活動しました。この期からは、信金中央金庫主催の「金庫の魅力再発見プログラム」にも参加し、他信金に当金庫の魅力を伝えることで、メンバー自身も改めてその良さを実感しました。提言では、より多くの方に当金庫を知っていただくためのイメージキャラクター制作を提案。現在制作が進んでおり、来春のお披露目を予定しています。どうぞご期待ください。

coming soon



第3期

「若年層との新たなつながりを築き、次世代に選ばれる信用金庫を目指す」をテーマに活動しました。同世代の視点から、若年層との接点を広げるために何ができるかを検討し、地域イベントの開催やSNSなどのデジタル施策を通じた交流拡大を提言しました。いずれも具体的で実現可能性の高い内容であり、現在は本部各部で実現に向けた取り組みが進められています。



参加した職員にとって、ジュニアボード活動は日常業務では味わえない貴重な経験となり、経営陣への提言を通じて自身のキャリアを高めるきっかけをつかむことができました。今後のさらなる活躍に、ぜひご期待ください。

総代会

総代会の仕組

信用金庫は会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念とする協同組織金融機関です。

会員となるためには定款で定める5,000円以上の出資をすることが必要ですが、出資金額の多寡に関係なく、会員は一人一票の議決権を持っています。

会員は総会を通じて信用金庫の経営に参加しますが、当金庫では会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では総会に代えて「総代会」を置いています。

総代会は、会員の皆さまの総意を適正に反映し充実した審議を確保するとともに、決算の承認、定款の変更、理事・監事の選任等、当金庫の重要事項を決議する最高の意思決定機関です。

会員の代表として、その総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っているのが、総代会を構成する総代です。当然、その選考にあたっては適正な手続きに基づくことが求められます。

当金庫では2004年12月8日「総代選任規程」を制定し、以下のような基準と方法によって総代を選考しています。

総代候補者選考基準

資格要件

- ・当金庫の会員であること
 - ・原則、就任時点で満80歳を超えていないこと^(注)
- (注) 2017年7月、総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせの改定に伴い定年制度を導入しました。

適格要件

- ・総代としてふさわしい見識を有している方
- ・良識をもって正しい判断ができる方
- ・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方
- ・そのほか総代候補者選考委員が適格と認めた方

総代とその選考方法

総代の任期定数

- 総代の任期は3年です。
改選時期は7月で、2026年7月に改選を行いました。
- 総代の定数は、120人以上160人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。
なお、2026年7月の総代改選で157人の総代が就任しました。また、会員数は2026年3月末日現在52,682先となっています。



総代の選考方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。

総代は、前項の「総代候補者選考基準」に基づき、次の手続きを経て選考されます。

- ① 当金庫の営業区域を7区の選任区域に分け、選任区域ごとに会員数を案分して総代の定数を定めます。
- ② 会員の中から総代候補者選考委員を選任します。総代会の決議により、選任区域ごとに会員の内から選考委員を委嘱します。
- ③ 総代候補者選考委員が総代候補者を選考します。選考した総代候補者を理事長に報告し、その氏名を1週間以上店頭掲示し、掲示している旨を公告します。
- ④ 総代候補者を会員が信任します。異議があれば公告後2週間以内に申し立てていただきます。異議がなければ選任されます。
- ⑤ 理事長は、総代を委嘱します。選任された総代の氏名を店頭に1週間以上掲示します。

当金庫では、総代会に限定することなく、役職員の日々の訪問活動や利用者満足度調査を実施するなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

第102期通常総代会に関する事項

2026年6月23日、第102期通常総代会を開催し、下記の事項が付議され、承認されました。

報告事項

- ・第102期業務報告及び貸借対照表並びに損益計算書報告の件

決議事項

- ・第1号議案 第102期剰余金処分案承認の件
- ・第2号議案 会員除名の件
- ・第3号議案 理事任期満了に伴う改選の件

総代のご紹介

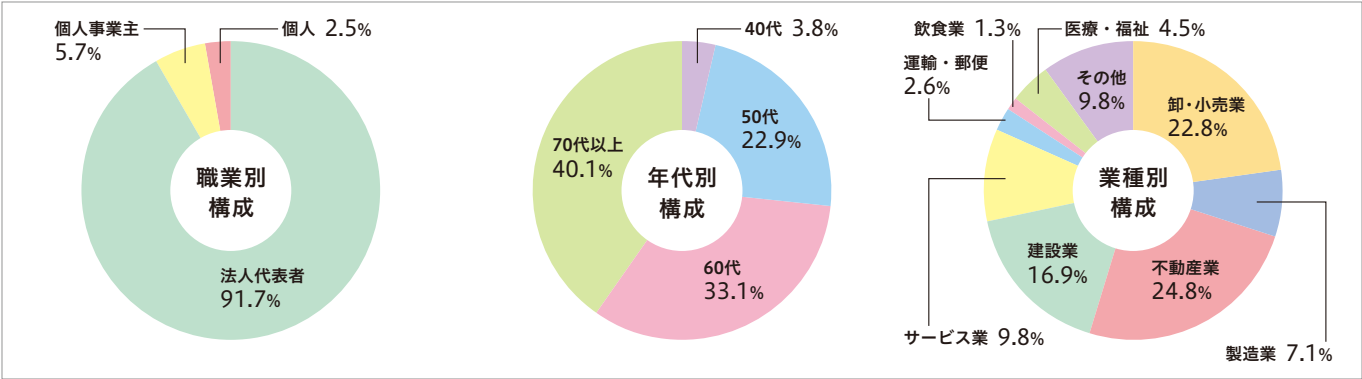
▼ 総代の氏名等 (2026年7月1日現在)

選任区域		氏 名								人数
第1区	横須賀市（中央部・北部） 追浜町・船越町・田浦町・大滝町・ 若松町・汐入町・上町・坂本町・ 三春町・安浦町 ほか	阿久津 弘⑬	石川 博①	岩澤 啓子④	大川 渉⑪	14人				
		大口 隆弘③	越川 昌光④	高橋 充③	かほる④					
		田村 真持⑦	橋本 祐三子④	久恒 たまみ②	福嶋 義信⑮					
		吉田 清⑤	渡邊 悟⑨							
第2区	横須賀市（西部） 池上・平作・衣笠栄町・小矢部・ 佐野町・公郷町・森崎・長井・武 ほか 三浦市	相澤 宏明①	石川 裕千②	石渡 庸介④	大草 貴之⑦	17人				
		折戸 匡夫⑥	小池 克彦⑪	古敷谷 美津江⑤	小林 一博①					
		佐久間 洋史②	関矢 和吉⑬	高梨 喜裕⑤	立川 明彦④					
		田中 博之⑥	中村 和陽③	前 誠一郎①	益子 健一⑨					
第3区	横須賀市（東部・南部） 大津町・久里浜・浦賀・根岸町・ 野比・長沢・津久井・馬堀町・鴨居・ 佐原 ほか	岩波 啓之④	臼井 功次④	苅山 秀樹②	古敷谷 敬二⑦	20人				
		佐藤 洋幸⑦	杉山 圭一④	鈴木 孝博⑨	高橋 拓海⑧					
		高橋 民雄③	玉木 弁立⑫	長瀬 弘④	新浪 一嘉③					
		野村 收⑦	橋本 篤一郎⑦	藤田 和秀③	本田 雅昭①					
第4区	横浜市 港南区・磯子区・泉区・金沢区・栄区・ 戸塚区	村松 修⑦	森下 守久⑩	山下 和男②	山田 衛⑤	21人				
		秋山 功⑧	飯泉 牧太郎⑳	近江 敏也①	尾形 正守⑧					
		小澤 潔⑤	小尾 一⑥	金子 裕之⑧	坂本 龍⑨					
		関根 宗平⑫	高橋 雅人④	高橋 稔⑦	新倉 良是④					
第5区	横浜市 中区・保土ヶ谷区・南区・旭区・ 神奈川区・西区・瀬谷区・鶴見区・ 緑区・青葉区・都筑区・港北区 川崎市 東京都 大田区・品川区・港区・目黒区・ 世田谷区・町田市	波多野 裕⑧	早川 恭彦⑤	福嶋 浩之⑦	福嶋 隆太郎⑥	39人				
		二村 淳一①	村上 常治⑧	山下 和志①	山下 光⑭					
		綿貫 和浩⑬	網野 孝司⑨	植本 正太郎④	内池 直人⑪					
		菜保子④	大島 竹人②	大橋 恵子③	小笠原 裕⑥					
第6区	鎌倉市 逗子市 藤沢市 葉山町	内田 照夫⑭	押川 貴哉①	尾野 靖司⑫	葛西 延美④	24人				
		荻間 勉③	神代 光人⑨	河野 信昭②	河野 美徳③					
		金子 清人⑤	栗田 裕④	小島 弘義⑨	佐藤 繁②					
		北見 尚之⑨	高岡 武⑧	高橋 直人②	高村 明彦④					
第7区	鎌倉市 逗子市 藤沢市 葉山町	関 浩二④	富田 純明⑪	永井 覚①	中山 了司②	24人				
		瀧澤 聡⑥	平沼 裕雄⑥	細野 和男⑦	堀江 直樹①					
		早瀬 雅徳②	平沼 裕司②	村井 洋介①	村岡 高幸⑥					
		三田 大明①	宮崎 直樹①	梁 保権③	桐ヶ谷 覚④					
第8区	鎌倉市 逗子市 藤沢市 葉山町	本山 伸隆②	横尾 直樹①	大崎 哲郎⑥	武内 郁⑤	24人				
		浅田 昌良⑧	板橋 孝明①	滝本 了⑧	萩原 成樹⑫					
		久保田 陽彦⑤	座間 邦夫①	中村 悟④	最上 重夫⑭					
		竹永 達也⑤	長戸 久幸②	松谷 直⑨	山口 俊明③					
第9区	鎌倉市 逗子市 藤沢市 葉山町	古屋 清⑫	牧田 知江子⑦	矢部 徹④	山口 聖司②	24人				
		柳 新一郎④	柳 康弘⑧	四十八願 大介②	渡邊 聖司②					
		山田 勝久⑬	湯澤 剛⑩	伊藤 和明④	岩澤 あゆみ③					
		浅岡 康一②	伊澤 敏典⑧	伊藤 大森③	小澤 雅彦④					
第10区	茅ヶ崎市・寒川町・平塚市・海老名市・ 大和市・座間市・厚木市・綾瀬市・ 大磯町・相模原市（旧津久井郡を除く）・ 二宮町・中井町・秦野市・伊勢原市・ 清川村・小田原市・箱根町・湯河原町	内野 晴雄②	大久保 義雄③	大森 竜太郎③	下山田 英明⑧	22人				
		小澤 裕介②	熊澤 孝太郎①	下里 宏規⑤	野口 了②					
		新門 三千夫⑦	徳田 正一①	永沢 武⑬	三澤 京子④					
		長谷川 静子④	服部 誠⑥	樋口 公平③	三澤 京子④					
第11区	鎌倉市 逗子市 藤沢市 葉山町	柳下 守康⑭	山口 秀明④	樋口 公平③	三澤 京子④	22人				
		柳下 守康⑭	山口 秀明④	樋口 公平③	三澤 京子④					
		柳下 守康⑭	山口 秀明④	樋口 公平③	三澤 京子④					
		柳下 守康⑭	山口 秀明④	樋口 公平③	三澤 京子④					

合計 157人

(五十音順、敬称略、丸数字は総代の就任回数)

▼ 総代の属性別構成



(注) 業種別の構成比は法人代表者および個人事業主に限ります。構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

● 内部管理態勢

内部管理基本方針

当金庫は、信用金庫法第36条第5項第5号および同法施行規則第23条に基づき、業務の健全性および適切性を確保するための基本方針として「内部管理基本方針」を定め、体制の整備と実効性の確保に努めています。

内部管理基本方針（概要）

1. 理事および職員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
2. 理事の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当金庫および子会社から成る集団における業務の適正を確保するための体制
6. 監事がその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
7. 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性および当該職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
8. 監事への報告に関する体制
9. 監事への報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取り扱いを受けないことを確保するための体制
10. 監事の職務の執行について生ずる費用の前払いまたは償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用または債務の処理に係る方針に関する事項
11. 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

● リスク管理態勢

統合的リスク管理態勢

基本方針

統合的リスクとは、当金庫の直面するリスクに関して、それぞれのリスク・カテゴリーごと（信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク等）に評価したリスクを総体的に捉え、当金庫の経営体力（自己資本）と比較・対照することによって、自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。また、管理すべきリスクの種類は随時見直し、環境変化に応じて新たに発生したリスクへの管理も行うこととしています。

当金庫は業務全般にわたってリスクが存在することおよびそのリスクを見逃すことがお客さまの信頼や当金庫の経営に重大かつ深刻な影響を与える可能性が高いことを強く認識し、内在する各種リスクを業務やリスクの特性に応じて適切に管理し、コントロールしていくことを経営上の最重要課題として受け止め、リスクとリターンの適切なバランスを確保すべく、リスク管理態勢の充実・強化に取り組んでいます。

当金庫では、リスクを「信用リスク」、「市場リスク」、「流動性リスク」、「オペレーショナル・リスク」に分類し、各リスクの特性に応じた管理を行っています。

また、「統合的リスク管理方針」および「統合的リスク管理規程」等を制定し、より高度な統合的リスク管理に努めるべく、常務会、リスク管理委員会、その下部組織である各種リスク管理委員会を中心に徹底した統合的リスク管理に取り組んでいます。

信用リスク管理

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランス資産を含む）の価値が減少ないし消失して、当金庫が損失を被るリスクです。

当金庫では、信用リスクを管理すべき最重要リスクの一つであると認識し、当該リスクに関する「信用リスク管理方針」および「信用リスク管理規程」を制定し、広く役職員に理解と遵守を促すとともに、管理態勢の強化を図っています。また、ホームページ上に融資基本姿勢（クレジット・ポリシー）を掲示し対外的にも明示しています。

信用リスクの評価については、厳格な資産の自己査定を実施し、回収の危険性や価値の毀損度合を的確に把握しています。また、正確な自己査定および適正な償却・引当の基礎となる信用格付につい

ては法人に加えて個人事業者も対象としており、ご融資のある取引先の財務データ蓄積を重ね、信用リスク計量化の基礎構築を行っています。

信用リスクの管理については、信用リスク管理委員会を設置し、貸出金の動向、不良債権の発生・回収状況等の報告をもとに、信用リスクに関する様々な分析・検討を行っています。

市場リスク管理

市場リスクとは、金利、有価証券の価格、為替等の様々な市場のリスクファクターの変動により、資産・負債（オフ・バランスを含む）の価値が変動して損失を被るリスクです。

当金庫では、市場リスクを適切に管理し、コントロールすることが収益の安定確保につながるとの認識から、ALM委員会を設置し、オンライン勘定系システムに連動したALMシステムを活用しながら、預金（調達）・貸出金（運用）金利を決定したり、有価証券の運用状況等を管理しています。

市場リスクについては、「市場リスク管理方針」および「市場リスク管理規程」に基づき適切な管理に努め、統計的手法（VaR）によるリスク量の計測・異常な事態を想定したストレステストや実際の損益との比較をするバックテストを行い、常にリスク管理の高度化・精緻化に努めています。

流動性リスク管理

流動性リスクとは、調達と運用の期間のミスマッチや予期しない預金の流出等により資金手当が必要な場合に、市場から資金が調達できなかったり、著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたりすることにより損失を被るリスクです。

当金庫では、「流動性リスク管理方針」および「流動性リスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに手元流動性資金を十分に確保し、万全の体制を整えています。また、余裕資金の運用については、安全性、流動性が高く、即資金化できる短期運用資産の充実に努め、適正な支払準備資産を確保しています。

流動性リスクの管理については、ALM委員会を設置するとともに、日次でリスク量の計測を行っています。「流動性危機管理マニュアル」では、資金繰りの状況に応じた「平常時」「懸念時」「危機時」の判定基準、および「懸念時」「危機時」の対応について定めています。

オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、金庫の業務の過程、役職員の活動、若しくはシステムが不適切であること、または、外生的な事象により損失を被るリスクです。

当金庫では、さらに事務リスク、システムリスク、その他リスク（人的リスク、有形資産リスク、風評リスク、法務リスク）に分類しています。

当金庫では、「オペレーショナル・リスク管理方針」に基づき適切な管理に努めるとともに、常務会・リスク管理委員会において総合的な管理を行っています。

● 事務リスク管理

事務リスクとは、役職員が事務処理をルール通り正確に行わないことや、事故・不正等を起こすことにより損失を被るリスクです。

当金庫では、「事務リスク管理方針」および「事務リスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに各業務を主管する本部各部署において、事務取扱規程・要領等の整備に努め、事務処理能力の向上を図るとともに各種事務の機械化を積極的に推進することにより厳正な事務処理体制の整備を行っています。

内部管理態勢の検証と事故・不正等の未然防止に関しては、事務・システムリスク管理委員会を設置し、定期的な委員会の開催により事務リスクの把握に努め、事務処理手続き等の周知・徹底と厳正化を図っています。また、対象事務を主管する本部各部署が策定した検査項目を、自店検査として営業店自らが検証することで内部牽制機能を発揮するとともに、主管する本部各部署は事後検証等による不備項目等の把握と再発防止策の立案等により、PDCAサイクルの確立を図っています。事務・システムリスク管理委員会では、自店検査で判明した不備項目等を定期的に報告させ、主管する本部各部署に対して改善指導の実施を促します。

● システムリスク管理

システムリスクとは、コンピューターシステムのダウンまたは誤作動等によるシステム障害ならびにコンピューターの不正使用、サイバーセキュリティ事案等により当金庫が損失を被るリスクです。

当金庫では、「システムリスク管理方針」および「システムリスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに、管理すべきリスクの所在・種類・特性を明確にし、厳格なセキュリティ管理とシステム監査およびモニタリングを実施して、安定的な業務遂行のための態勢強化を図っています。

事務・システムリスク管理委員会では、システムリスク管理のモニタリング結果を検証し、必要に応じて管理方法の運用改善を図っています。

● 人的リスク管理

人的リスクとは、人事運営上の不公平・不公正（報酬・手当・解雇等の問題）から生じる損失・損害などを被るリスクです。

当金庫では、適切な人事管理および人事運営を行うことを基本とし、教育・研修や職場指導等により、損失の未然防止・極小化を図っています。また、人的リスクが経営に大きな影響を与えるものと認識し、常務会において管理を行っています。

● 有形資産リスク管理

有形資産リスクとは、有形資産の毀損・損害などを被るリスクです。

当金庫では、所有する動産・不動産の所在および現状を把握し、災害や不法行為等による被害に備え適切な管理を行っています。また、有形資産リスクが経営に大きな影響を与えるものと認識し、常務会において管理を行っています。

● 風評リスク管理

風評リスクとは、事実の有無にかかわらず世間一般で当金庫の信用に悪影響を及ぼす風評が広まることにより損失を被るリスクです。

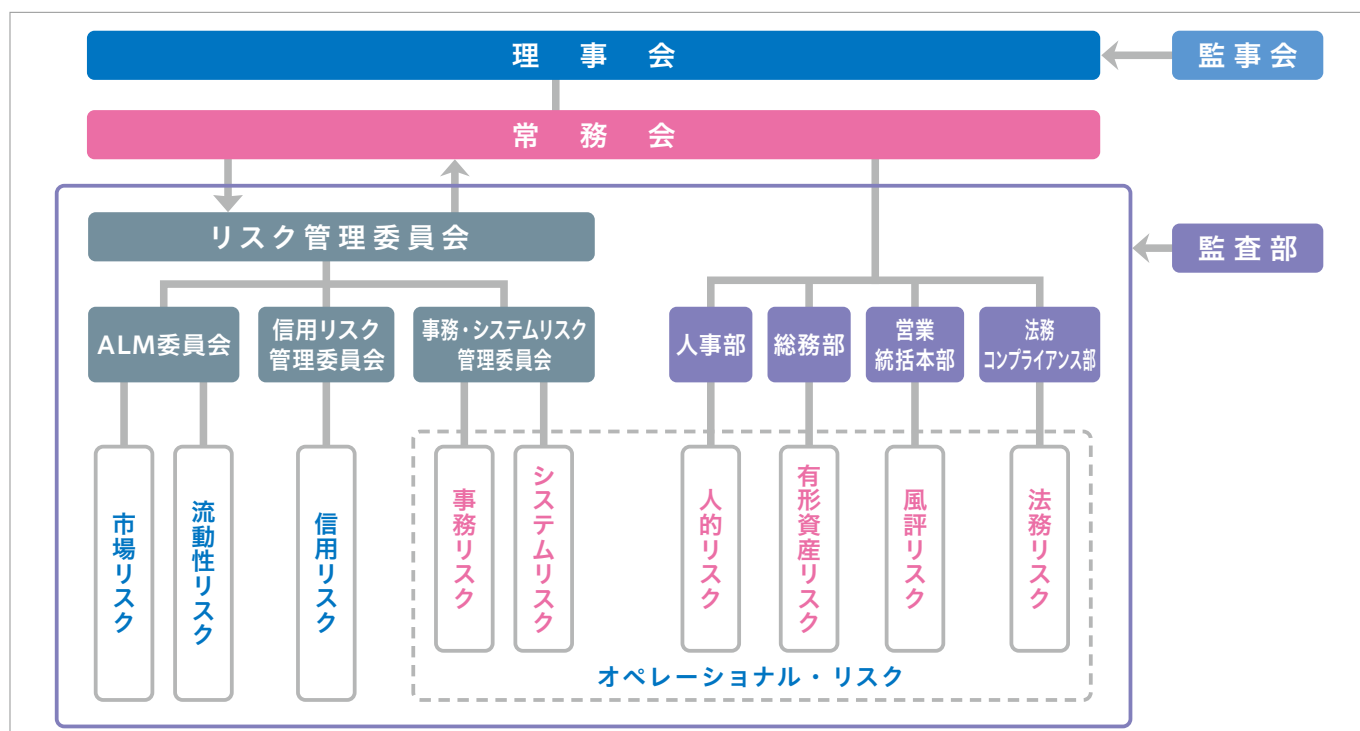
当金庫では、風評リスクが経営に与える影響は非常に大きいものであると認識し、風評の早期発見に努めるとともに緊急度・影響度等の観点から適切に対応することで損失の極小化を図り、風評の急激な悪化やそれに伴う不測の事態に備えるため「風評リスク管理マニュアル」を制定するとともに、常務会において管理を行っています。

● 法務リスク管理

法務リスクとは、当金庫および役職員等が各種法令に抵触する行為を行うことにより損失を被るリスクです。

当金庫の社会的使命と公共性の自覚のもと、法規範並びに社会規範の厳格な遵守を維持し、事業・業務運営等の活動にあたって、様々な状況下で発生する法務リスクについて、有効・適切な組織対応を実現するため「法務問題の一元管理に関する規程」を定めています。また、統括部署として「法務コンプライアンス部」を設置し、適法・適切かつ公正な問題解決の早期実現と、法務リスクの最大限の回避を図り、もって社会の要請に応えることを目指し、常務会の指導のもと厳格な管理を行っています。

▼ リスク管理体制図



法令等遵守態勢、マネロン・テロ資金供与対策に係る態勢整備、顧客保護等管理態勢、金融ADR制度への対応

法令等遵守態勢

基本方針

当金庫では、理事および職員ならびに子会社の役員・従業員の職務執行において、法令や定款への適合を確保する態勢の構築や適切な運用を図ることにより、業務の健全性と適切性を確保し社会的規範にもとることのない経営活動を実施しています。法令等遵守はもとより、反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策にも積極的に取り組んでいます。

法令等遵守の運営態勢

当金庫では、法令等遵守に関する事項を統括する部署として、法務コンプライアンス部を設置しています。実施部門となる本部各部および営業店の全部署には法令等遵守の管理・運用者となる、コンプライアンス委員を任命・配置しており、自部署における管理運用を各部課室店長と連携することにより、コンプライアンス・プログラムを着実に実施しています。

法務コンプライアンス部は、実施部門のコンプライアンス・プログラムの効率的・効果的な実行を検証する検証機能の発揮のほか、全部課室店の法令等遵守に関する情報収集・調査・分析を行います。

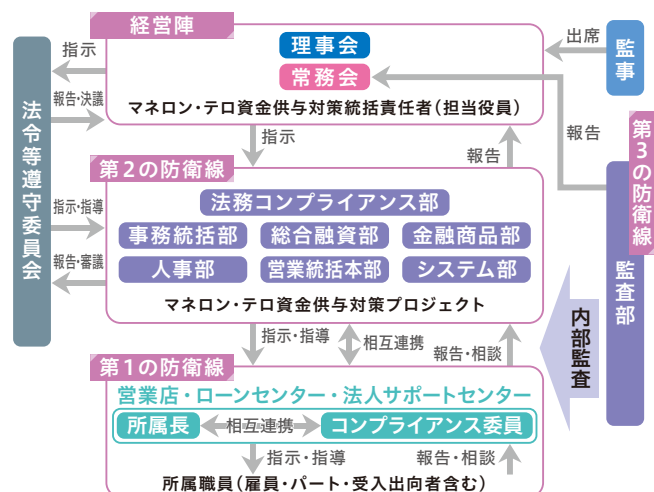
マネロン・テロ資金供与対策に係る態勢整備

当金庫では、反社会的勢力やテロ組織等の非合法組織への資金を断つ国際的な取組みに協調するべく「マネー・ローンダリング（※1）及びテロ資金供与（※2）（以下、「マネロン・テロ資金供与」）対策」を構じ高度化を図っているところです。継続的かつ積極的にマネロン・テロ資金供与リスクの低減を図ることの一環として、当金庫ではお客さまの現状確認や取引内容の実態を確認させていただく必要があることから、お客さま宛ての「アンケート」を送付し、その回答結果に応じたリスク評価とリスク低減策の実施等、PDCAサイクルを中心とした各種施策を実施いたします。安全で安心な金融取引を維持するためにもご協力をお願いします。

※1：マネー・ロンダリングとは、金融システム等を利用することで、犯罪収益の出所や真の所有者が分からないようにする等の行為をいいます。

※2：テロ資金供与とは、金融システム等を利用して、テロリストやその協力者、大量破壊兵器の拡散に関わる者等に対し、資金またはその利益を提供する行為をいいます。

マネロン・テロ資金供与対策管理体制図



顧客保護等管理態勢

基本方針

当金庫は、顧客保護等管理態勢を構築し、適切な運用を図ることにより業務の健全性および適切性を確保することを目的としています。また、お客さまの保護および利便性向上の観点から、①「顧客説明」（商品説明、取扱い説明等）②「顧客サポート等」（苦情・要望・相談等）③「顧客情報管理」（法人を含む顧客情報の管理等）④「外部委託管理」⑤「利益相反管理」⑥「その他顧客保護等」（顧客利便性の向上への取組）等を達成するため必要となる管理を行っています。

顧客保護等の運営態勢

当金庫では、顧客保護等管理を統括する責任者として「顧客保護等管理責任者」を置き、常務会や管理責任者の役割・責任を定めています。また「顧客保護等基本姿勢」「個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）」を公表しています。

顧客保護等管理の主管部署を法務コンプライアンス部とし、本部各部署および営業店で実施する自主点検の結果を検証し、指導・監督する態勢を構築しています。

金融ADR制度への対応

▼ 金融ADR制度とは

簡易・迅速な紛争解決を実現する裁判外紛争解決制度のことをいいます。

苦情处理措置

当金庫は、お客さまからの苦情お申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレット等で公表しています。

苦情は、当金庫営業日に営業店またはお客様相談室（9時～17時
フリーダイヤル：0120-001-941）にお申し出ください。

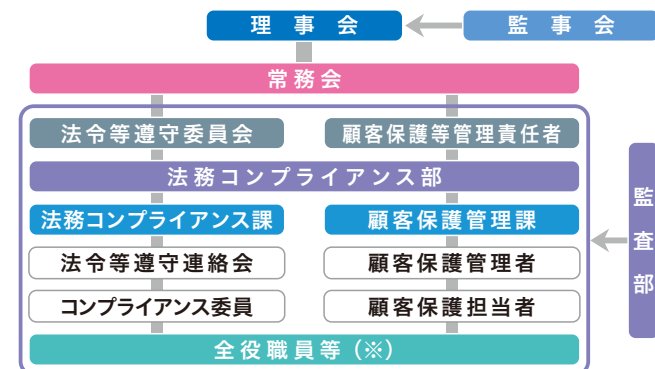
紛争解決措置

お客様相談室または全国しんきん相談所、関東地区しんきん相談所に申し出があった際は、東京・神奈川の各弁護士会の仲裁センター等に取次いたします。また、お客さまから各弁護士会へ直接申し出をされることも可能です。

カスタマーハラスメント対応

当金庫は「お客さま等から役職員等に対し、その業務に関して行われる著しい迷惑行為であって、役職員等の就業環境を害する者」をカスタマーハラスメントとして定義しています。当該行為には毅然と対応し、お取引・ご対応を中止させていただく場合がございます。

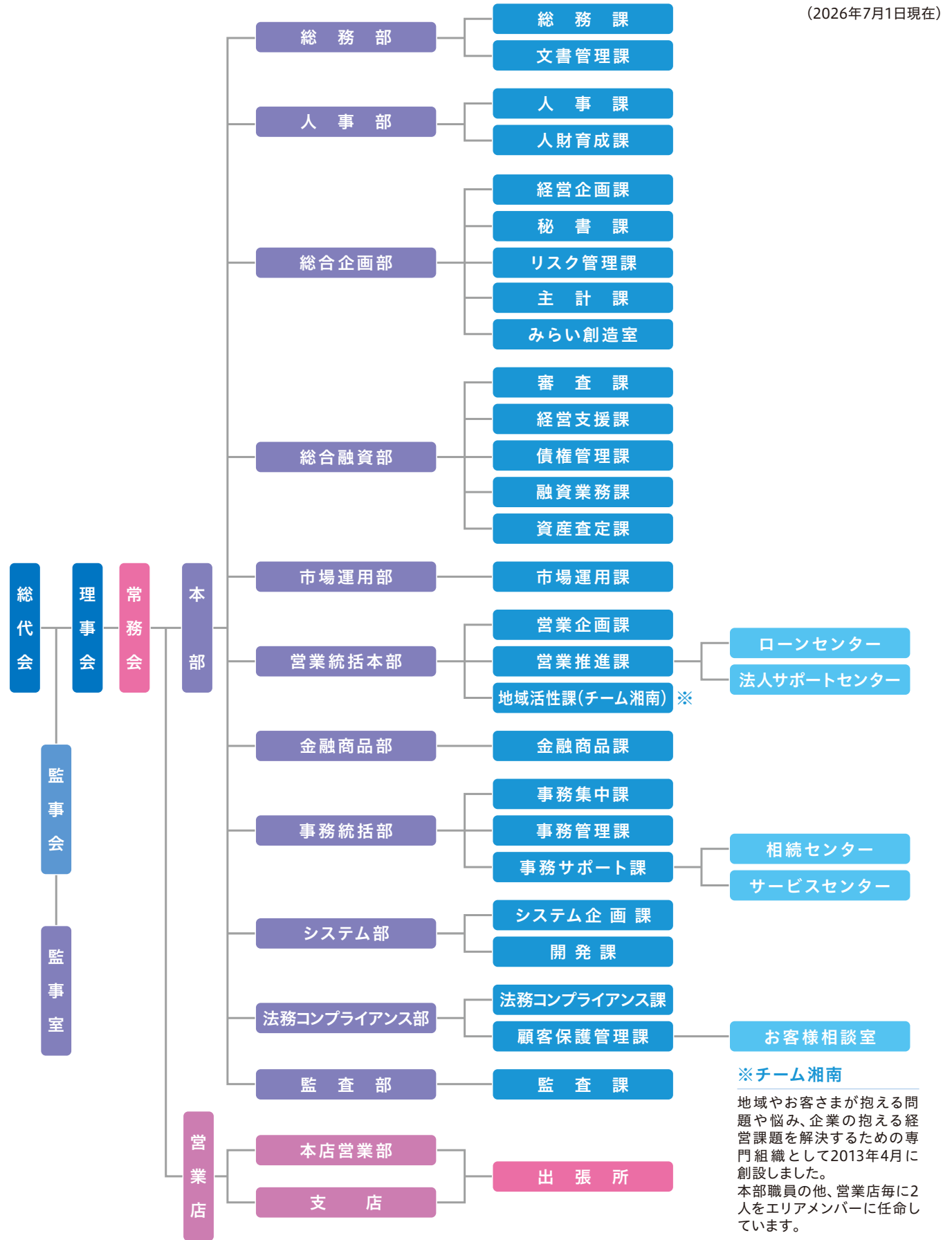
コンプライアンス（法令等遵守）・顧客保護等管理体制図



※子会社等の取締役等および使用人を含む

組織

事業の組織図



経営体制

役員

理事長 (代表理事)	鷲尾 精一	監査部担当
専務理事 (代表理事)	二本木 岳彦	市場運用部・営業統括本部・金融商品部担当
専務理事 (代表理事)	風呂本 将憲	人事部・総合融資部担当
常務理事 (代表理事)	永井 環	事務統括部・法務コンプライアンス部担当
常務理事	永島 弘一郎 ^{※1}	総合企画部（経営企画課・秘書課・ みらい創造室）担当
常勤理事	小峰 浩	総合企画部（リスク管理課・主計課）・ システム部担当 総合企画部長委嘱
常勤理事	鶴岡 直文	総合融資部担当
常勤理事	戸部 淳	総務部・人事部（人財育成課）担当 総務部長委嘱
理事	佃 一男 ^{※1}	非常勤
常勤監事	石田 貴一	
監事	宮部 よしみ ^{※2}	非常勤
監事	岸本 寛之 ^{※2}	非常勤

※1 信用金庫業界の「総代会の機能向上等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事

※2 信用金庫法第32条5項に定める員外監事

執行役員

執行役員	高山 士郎	システム部担当
執行役員	中嶋 孝誌	横浜西口支店・藤棚中央支店担当
執行役員	菅野 敦	鎌倉営業部担当
執行役員	武藤 晴之	伊勢佐木町支店担当
執行役員	北村 順一	本店営業部担当
執行役員	佐々木 通隆	総合融資部担当
執行役員	稲垣 雅俊	東京営業部担当
執行役員	簗島 淳	事務統括部担当
執行役員	間山 孝仁	茅ヶ崎営業部・茅ヶ崎南口支店担当

役員・執行役員は、2026年6月23日現在です。

報酬体系

1. 対象役員

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象役員」は、常勤理事および常勤監事をいいます。対象役員に対する報酬等は職務執行の対価として支払う「基本報酬」で構成されています。なお、「賞与」、「退職慰労金」はありません。

(1) 報酬体系の概要

非常勤を含む全役員の基本報酬につきましては、総代会において理事全員および監事全員それぞれの支払総額の最高限度額を決定しています。そのうえで、各理事の基本報酬につきましては役位や在任年数、前年度の業績等をそれぞれ勘案し、当金庫の理事会において決定しています。また、各監事の基本報酬につきましては、監事会の協議により決定しています。

(2) 2025年度における対象役員に対する報酬等の支払総額

区 分	支払総額（単位：百万円）
対象役員に対する報酬	98

(注) 1.対象役員に該当する理事は10名、監事は2名です。対象役員には期中に退任した者を含めています。
2.上記内訳は「基本報酬」のみです。

(3) その他

「信用金庫法施行規則第132条第1項第6号等の規定に基づき報酬等に関する事項であって、信用金庫等の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるものを定める件」（平成24年3月29日付金融庁告示第22号）第2条第1項第3号・4号および6号に該当する事項はありませんでした。

2. 対象職員等

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象職員等」は、当金庫の非常勤役員、当金庫の職員、当金庫の主要な連結子法人等の役職員であって、対象役員が受ける報酬等と同額以上の報酬等を受ける者のうち、当金庫の業務および財産の状況に重要な影響を与える者をいいます。なお、2025年度において対象職員等に該当する者はありません。

(注) 1.対象職員等には、期中に退任・退職した者を含めています。
2.「主要な連結子法人等」とは、当金庫の連結子法人のうち、当金庫の連結総資産に対して2%以上の資産を有する会社等をいいます。なお、当金庫の主要な連結子法人等の役職員に該当者はありませんでした。
3.「同等額」は、2025年度に対象役員に支払った報酬等の平均額としています。
4.「当金庫の業務および財産の状況に重要な影響を与える者」は経営層の意思決定に直接助言しうる職員として「執行役員・参事」を対象として判断しています。

湘南しんきんのあゆみ

大正

13年 3月 有限責任横須賀信用組合創立

昭和

7年 11月 茅ヶ崎信用組合創立

26年 11月 信用金庫法に基づき茅ヶ崎信用金庫に改組

25年 8月 鎌倉市信用組合創立

27年 3月 信用金庫法に基づき鎌倉信用金庫に改組

26年 10月 信用金庫法に基づき横須賀信用金庫に改組

62年 4月 ホールくりはま、ギャラリーくりはまオープン

平成

元年 7月 横須賀信用金庫と鎌倉信用金庫が合併し、湘南信用金庫が誕生

16年 10月 本店ローンセンター開設

元年 9月 社内報「湘南の風」創刊号発行

17年 9月 若手経営者の育成を目的に「しょうなん経営塾」を開講

2年 1月 第1回湘南しんきん友の会旅行を実施

17年 12月 預金量1兆円を達成

2年 7月 預金量5千億円達成

20年 6月 湘南信用金庫第五代理事長に石渡 卓が就任

3年 7月 茅ヶ崎信用金庫と合併

22年 4月 認知症サポーター全役職員取得

4年 1月 湘南地域独自の経済情報誌「SHONAN 景況レポート」発行

24年 1月 学校法人神奈川大学と産学連携協定を締結

6年 11月 東京大和信用組合と合併

24年 11月 経営革新等支援機関に認定

8年 8月 ホームページ開設

25年 4月 お客さまの抱える課題・問題を解決することを主の活動目的とする、地域活性化課「チーム湘南」を創設

9年 11月 イラストレーター鈴木 英人氏と版画使用契約締結

26年 3月 金庫創立90周年

10年 6月 第1回信用金庫社会貢献賞「特別賞」を受賞
(ボランティア出向制度)

27年 5月 学校法人関東学院大学と「産学連携に関する協定」を締結

10年 10月 ギャラリーおおぐちオープン

27年 6月 第18回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」を受賞
(久里浜おつかい便「御用聞きプロジェクト」)

10年 10月 第53回かながわ・ゆめ国体軟式野球大会で当金庫野球部が全国優勝

28年 2月 学校法人鎌倉女子大学と「産学連携に関する協定」を締結

11年 3月 信金業界のトップを切り、全国の郵便局と業務連携、
ATMの相互利用を開始

28年 3月 ライフプランアドバイザー (LA) 制度の発足

12年 9月 働くお母さんを支援する駅前保育施設
「湘南アイルド (茅ヶ崎)」開園 (株式会社 湘南悠遊倶楽部)

28年 7月 タブレット端末でペーパーレス会議を開始

14年 3月 神奈川県青果信用組合の事業譲受

29年 9月 次世代特例認定マーク「プラチナくるみん」認定取得

14年 6月 インターネットバンキング (湘南ダイレクトサービス) 取扱開始

30年 2月 横浜法人サポートセンター開設

14年 11月 上大岡ローンセンター開設

30年 7月 学校法人横浜商科大学と「産学連携に関する協定」を締結

15年 11月 法人・事業者向けインターネットバンキング
「湘南ビジネスダイレクト」取扱開始

30年 10月 学校法人神奈川歯科大学と「産学連携に関する協定」を締結

16年 4月 働くお母さんを支援する駅前保育施設
「湘南アイルド (逗子)」開園 (有限会社 湘南アイルド)

31年 3月 女性職員の制服廃止

令和

元年 5月 「湘南しんきんSDGs宣言」を公表

4年 8月 浦賀支店を馬堀支店内に移転

元年 6月 本部本館壁面に「SHONAN」ネオン看板設置

4年 9月 ローンセンターの営業日変更 (土日祝日を休業)

元年 7月 湘南しんきん誕生30周年

4年 10月 新勘定系システム「OptBAE」へ移行

元年 9月 出資証券ペーパーレス化 (不発行) を実施

5年 3月 しんきん口座開設アプリの取扱開始

元年 10月 「かながわSDGs/パートナー」に登録

5年 4月 ジュニアボード制度を創設

2年 1月 創立100周年に向けたイメージポスター制作

5年 6月 神奈川県信用保証協会および日本政策金融公庫との
「事業承継支援に関する覚書」を締結

2年 5月 出資会員の優待制度開始

6年 2月 三崎支店を三浦海岸支店内に移転
茅ヶ崎南口支店を茅ヶ崎営業部内に移転

2年 6月 湘南信用金庫第六代理事長に鷺尾 精一が就任

6年 2月 新横浜法人サポートセンター開設

2年 8月 庫内報「湘南の風」をWEBで配信

6年 3月 金庫創立100周年

3年 1月 横須賀市の「お土産開発支援事業」が当金庫の推薦で
「SCBふるさと応援団」に選出

6年 7月 本郷町支店を元町中華街支店内に移転

3年 2月 逸見支店、池上支店の「窓口営業時間」および
「取扱業務」を変更

6年 9月 みらい創造室の新設

3年 4月 しんきんバンキングアプリの取扱開始

6年 9月 ホールくりはま、ギャラリーくりはま
リニューアルオープン

3年 10月 「通年ノーネクタイ」を実施

6年 11月 第1回事業報告会・総代懇親会 開催

3年 11月 腰越支店を深沢支店内に移転
藤棚中央支店を横浜西口支店内に移転

7年 4月 ビジネスカジュアルを導入

3年 11月 湘南法人サポートセンター開設、事務サポート課設置

7年 6月 茅ヶ崎市との持続可能な地域づくりに関する連携協定締結

3年 12月 営業店支援システムを導入

7年 7月 家族信託取次業務の開始

4年 4月 100周年記念事業実行委員会設立

7年 12月 小山支店名称を東京営業部へ変更

事業内容

▼ 金庫の主要な事業の内容

預金業務	当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、譲渡性預金等を取り扱っています。
貸出業務	手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っています。
有価証券投資業務	預金の支払準備および資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しています。
内国為替業務	送金為替、当座振込等を取り扱っています。
附帯業務	代理業務 日本銀行歳入代理店および国債代理店業務 地方公共団体の公金取扱業務 株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 信金中央金庫等の代理貸付業務
	保護預りおよび貸金庫業務
	有価証券の貸付
	債務の保証
	金の売買
	公共債の引受
	国債等公共債および証券投資信託の窓口販売
	保険商品の募集業務（保険業法に基づく保険募集）
	確定拠出年金法により行う業務
	電子債権記録機関の委託を受けて行う電子債権記録業に係る業務

信用金庫と銀行との違い

金融サービスは同じでも、「信用金庫」と「銀行」では経営理念の違いで組織のあり方が異なります。

「信用金庫」は、主な取引先である営業地域内の中小企業や個人が会員となり、互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関です。3つのビジョン「地域社会繁栄への奉仕」「中小企業の健全な発展」「豊かな国民生活の実現」を掲げ、株式会社である「銀行」と異なり利益第一主義ではなく、会員すなわち地域社会の利益が優先されます。

さらに、「信用金庫」の営業地域は一定の地域に限定されており、お預かりした資金はその地域の発展に生かされている点も「銀行」と大きく異なります。

比較項目	信用金庫	銀行
根拠法	信用金庫法（1951・昭和26年）	銀行法（1981・昭和56年）
特色 （目的と性格）	地域の中小企業ならびに個人のための金融の円滑化を目的とする	不特定多数の企業と個人のための金融業務を行う
経営形態	会員の出資による協同組織の非営利法人 一人一票の原則による民主的経営 （意思決定機関→総会（総代会）、理事会）	株式会社組織 経営政策は株式多数保有者の利益を強く反映し、利益先行性が強い （意思決定機関→株主総会、取締役会）
営業地域	制限あり（定款で定める） 限定された地域を営業基盤とする	制限なし（定めなし） 広域を営業基盤とする
会員資格 （取引対象）	・地区内に住所または居所を置く従業員300人以下 または資本金9億円以下の中小企業または個人 ・地域内で働く個人等	なし
業務範囲	預金の制限なし、融資は原則として会員に限る	制限なし

● 主な手数料

(税込)

▼ 振込手数料

(2026年7月1日現在)

項 目		単位・区分	当金庫同一店舗宛	当金庫他店宛	他金融機関宛
ATM利用	現金扱	3万円以上	330円	330円	660円
		3万円未満	110円	110円	440円
	キャッシュカード扱	3万円以上	無料	220円	550円
		3万円未満	無料	110円	385円
窓口利用	電信扱文書扱	3万円以上	440円	440円	880円
		3万円未満	220円	220円	660円
定額自動送金※1		3万円以上	330円	330円	660円
		3万円未満	110円	110円	440円
湘南ダイレクト 個人向けインターネットバンキング		3万円以上	無料	無料	440円
		3万円未満	無料	無料	275円
湘南ビジネスダイレクト 法人事業者向けインターネットバンキング		3万円以上	無料	無料	550円
		3万円未満	無料	無料	330円

※1 定額自動送金は、振込手数料の他に1件ごと毎月110円の取扱手数料がかかります。

▼ 再発行手数料

項 目	単位・区分	金額
通帳、証書	1冊	1,100円
キャッシュカード (IC含む)	1枚	1,100円
ローンカード	1枚	1,100円
貸金庫カード	1枚	1,100円
両替機専用カード	1枚	1,100円
両替定額制カード	1枚	1,100円

▼ 両替手数料 (紙幣+硬貨の枚数)

金種指定払戻手数料 (1万円券を除く紙幣+硬貨の枚数)

新券、旧タイプ紙幣、新タイプ紙幣の指定も枚数に換算します。

項 目	単位・区分	金額
円貨両替手数料 窓口扱	1～500枚	770円 ^{※2}
	501～1,000枚	1,540円
	1,001～1,500枚	2,310円
	1,501～2,000枚	3,080円
金種指定払戻手数料	2,001～2,500枚	3,850円
	2,501～3,000枚	4,620円
	以後、1,000枚毎	1,540円

※2 通帳・キャッシュカード提示でお一人さま1日1回10枚まで無料

▼ 硬貨取扱手数料 (硬貨の受入枚数)

項 目	単位・区分	手数料
硬貨取扱手数料	1～100枚	無料
	101～500枚	770円
	501～1,000枚	1,540円
	1,001～1,500枚	2,310円
	1,501～2,000枚	3,080円
	2,001～2,500枚	3,850円
	2,501～3,000枚	4,620円
	以後、1,000枚毎	1,540円

▼ 各種発行手数料

項 目	単位・区分	金額
残高証明発行手数料	1通	660円
監査法人等からの 取引確認書発行手数料	1通	3,300円
手作成の残高証明書発行手数料	1通	2,200円

▼ 夜間金庫手数料

項 目	単位・区分	金額
夜間金庫月額利用料	1件	8,800円
夜間金庫専用入金票	1冊 (50枚)	5,500円
夜間金庫使用袋	1袋	1,100円

▼ 融資関連手数料

項 目	単位・区分	金額
貸付用約束手形	1枚	無料
全額繰上返済、一部繰上返済 ^{※3}	1件	5,500円
事業性融資新規取扱手数料	1件	11,000円
融資実行手数料	1件	2,200円
条件変更手数料 (金利変更)	1件	5,500円
条件変更手数料 (金利変更以外)	1件	3,300円
不動産担保調査手数料 ^{※4}		
設定額5千万円以下	1件	55,000円
設定額5千万円超2億円以下	1件	77,000円
設定額2億円超	1件	110,000円
不動産担保内容変更手数料	1件	11,000円
不動産担保抹消立会手数料	1回	11,000円
不動産担保一部抹消手数料	1件	2,200円

※3 別途繰上返済に関して特約書を差し入れていただいている場合の繰上返済手数料は、その特約書に定められた金額となります。

※4 神奈川県・東京都以外の遠隔地は上記に22,000円加算し、別途交通費、宿泊費等の実費を別途請求します。

▼店舗配置

※●●●●の中の数字は店番を示しています。

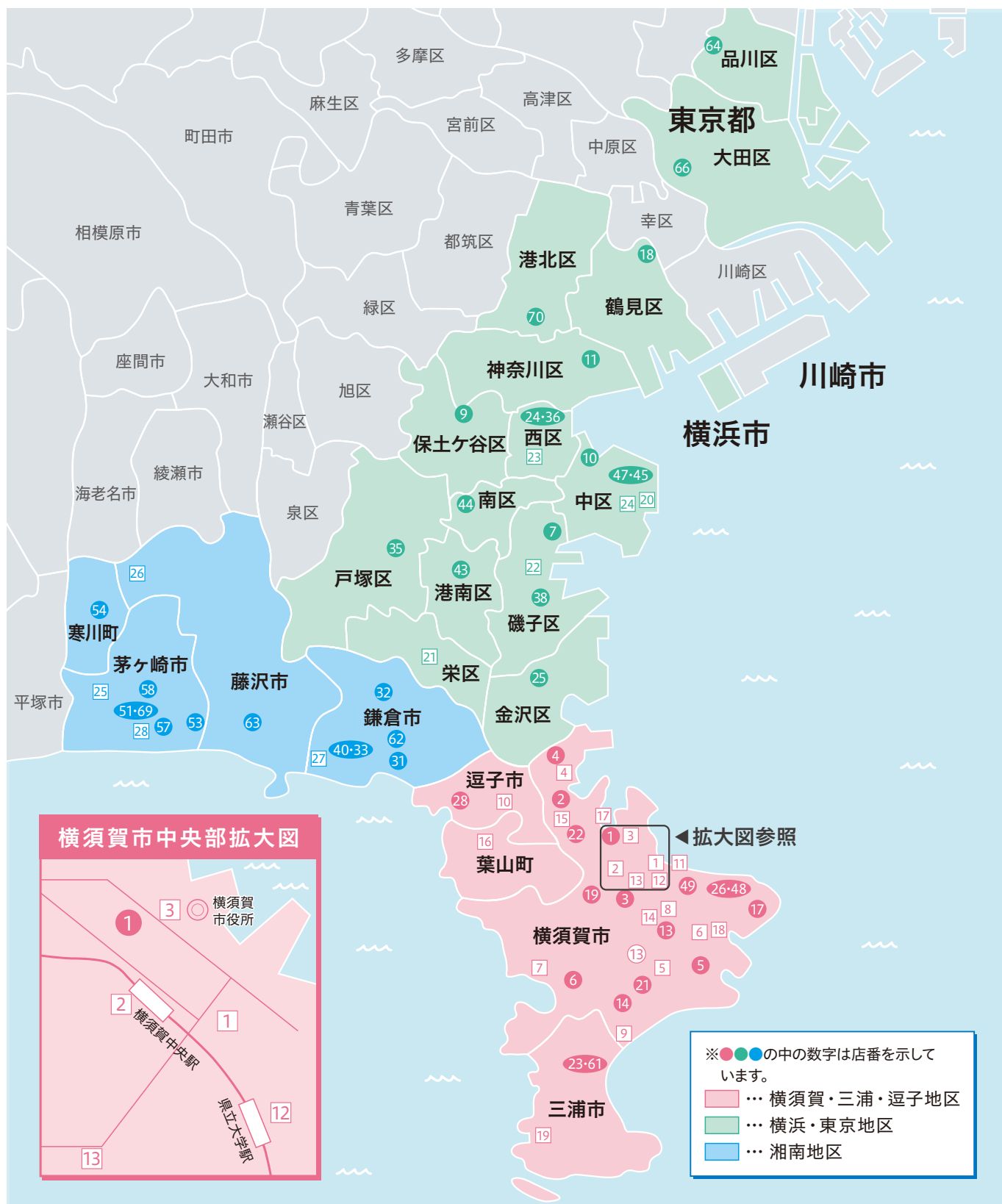
(2026年7月1日現在)

横須賀・三浦・逗子地区	① 本店営業部	横須賀市大滝町2-2	①⑨ 池上支店	横須賀市池上4-1-4
	② 田浦支店	横須賀市船越町1-45	②① 野比支店	横須賀市野比1-8-27
	③ 衣笠支店	横須賀市衣笠栄町1-70	②② 逸見支店	横須賀市東逸見町2-81
	④ 追浜支店	横須賀市追浜本町1-1	②③ 三浦海岸支店	三浦市南下浦町上宮田3115
	⑤ 久里浜支店	横須賀市久里浜4-8-17	②⑥ 馬堀支店	横須賀市馬堀町3-2-1
	⑥ 武山支店	横須賀市林1-1-6	②⑧ 逗子支店	逗子市逗子1-1-3
	⑬ 北久里浜支店	横須賀市根岸町3-3-8	④⑧ 浦賀支店	横須賀市馬堀町3-2-1 (馬堀支店内)
	⑬ 岩戸出張所	横須賀市岩戸4-23-10	④⑨ 堀ノ内支店	横須賀市三春町3-25
	⑭ 長沢支店	横須賀市グリーンハイツ3-5	⑥① 三崎支店	三浦市南下浦町上宮田3115 (三浦海岸支店内)
	⑰ 鴨居支店	横須賀市鴨居1-10-14	(横須賀・三浦・逗子地区 18店舗・1出張所)	
横浜・東京地区	⑦ 磯子支店	横浜市磯子区中浜町15-13	③⑧ 杉田支店	横浜市磯子区杉田1-19-17
	⑨ 保土ヶ谷支店	横浜市保土ヶ谷区星川3-8-1 2026年秋頃 新装開店予定 ※仮店舗住所	④③ 上大岡支店	横浜市港南区上大岡西1-18-3
	⑩ 伊勢佐木町支店	横浜市中区長者町8-134	④④ 永田支店	横浜市南区永田北3-3-12
	⑪ 大口支店	横浜市神奈川区大口通127-9	④⑤ 本郷町支店	横浜市中区山下町112 (元町中華街支店内)
	⑬ 矢向支店	横浜市鶴見区矢向6-12-7	④⑦ 元町中華街支店	横浜市中区山下町112
	②④ 横浜西口支店	横浜市西区南幸2-13-12	⑥④ 東京営業部	東京都品川区小山4-5-4
	②⑤ 能見台支店	横浜市金沢区能見台通7-25	⑥⑥ 本門寺前支店	東京都大田区池上6-3-8
	③⑤ 戸塚支店	横浜市戸塚区上倉田町498-9	⑦⑦ 新横浜支店	横浜市港北区新横浜2-4-15
	③⑥ 藤棚中央支店	横浜市西区南幸2-13-12 (横浜西口支店内)	(横浜・東京地区 17店舗)	
湘南地区	③① 鎌倉営業部	鎌倉市御成町4-13	⑤⑦ 若松町支店	茅ヶ崎市旭が丘2-33
	③② 大船支店	鎌倉市大船1-4-1	⑤⑧ 高田支店	茅ヶ崎市鶴が台1-2
	③③ 腰越支店	鎌倉市常盤82 (深沢支店内)	⑥② 鎌倉駅前支店	鎌倉市御成町11-39
	④⑦ 深沢支店	鎌倉市常盤82	⑥③ 藤沢支店	藤沢市鵜沼橋1-1-2
	⑤① 茅ヶ崎営業部	茅ヶ崎市新栄町8-4	⑥⑨ 茅ヶ崎南口支店	茅ヶ崎市新栄町8-4 (茅ヶ崎営業部内)
	⑤③ 小和田支店	茅ヶ崎市浜竹3-2-32	(湘南地区 12店舗)	
	⑤④ 寒川支店	高座郡寒川町岡田1-3-2		

▼店舗外ATM配置

(2026年7月1日現在)

横須賀・三浦・逗子地区	① 横須賀共済病院出張所	横須賀共済病院内	①① リヴィンよこすか店出張所	リヴィンよこすか店内
	② モアーズシティ出張所	京急横須賀中央駅西口 モアーズシティ内	①② 安浦出張所	京急県立大学駅そば徒歩0分
	③ 横須賀市役所出張所	市役所北口駐車場側入口並び	①③ 上町出張所	不入斗橋バス停そば
	④ 京急ストアパーク浦郷店出張所	京急ストアパーク浦郷店駐車場内	①④ 根岸出張所	神奈川県立横須賀工業高等学校そば
	⑤ 京急ストアハイランド店出張所	京急ストアハイランド店隣接	①⑤ 南田浦出張所	横須賀基督教社会館並び
	⑥ ローゼン湘南山手出張所	相鉄ローゼン湘南山手店内	①⑥ HAYAMA STATION出張所	ショッピングプラザHAYAMA STATION入口
	⑦ 京急ストア芦名店出張所	京急ストア芦名店入口	①⑦ Coaska Bayside Stores出張所	Coaska Bayside Stores内
	⑧ 京急ストアパーク北久里浜出張所	京急ストアパーク北久里浜店隣接	①⑧ 浦賀出張所	京急浦賀駅から浦賀通りを徒歩3分
	⑨ 京急ストア津久井浜店出張所	京急ストア津久井浜店内	①⑨ 京急ストア三崎東岡店出張所	京急ストア三崎東岡店内
	⑩ 東逗子出張所	ヨークマート東逗子店正面入口 (水道道側)		
横浜・東京地区	②⑦ 本牧第一福祉センター出張所	本牧ふ頭D突堤 湾港労働者福祉センター1F	②③ 藤棚中央出張所	京急戸部駅徒歩10分 西前銀座商店街
	②① 公田出張所	栄警察署斜め前	②④ 本郷町出張所	本郷町バス停そば
	②② 京急ストア屏風浦店出張所	京急ストア屏風浦店内		
湘南地区	②⑤ 富士スーパー鶴嶺店出張所	富士スーパー鶴嶺店駐車場内	②⑦ 腰越出張所	神戸橋そば
	②⑥ 用田出張所	御所見市民センター前バス停そば	②⑧ 茅ヶ崎南口出張所	JR茅ヶ崎駅南口そば



▼ 営業地区

神奈川県	横須賀市、逗子市、三浦市、三浦郡葉山町、横浜市、川崎市、鎌倉市、藤沢市、大和市、茅ヶ崎市、高座郡寒川町、平塚市、海老名市、綾瀬市、厚木市、相模原市（旧津久井郡を除く）、座間市、中郡大磯町、中郡二宮町、足柄上郡中井町、秦野市、伊勢原市、愛甲郡清川村、小田原市、足柄下郡箱根町、足柄下郡湯河原町
東京都	大田区、品川区、目黒区、港区、世田谷区、町田市

「計数編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、「計数編」を作成しています。「計数編」は、当金庫ホームページにてご覧いただけます。

湘南しんきん

検索





湘南信用金庫 総合企画部

2026年7月発行

〒238-8616 横須賀市大滝町2-2
TEL 046-825-3385

<https://www.shinkin.co.jp/shonan/>

マネロン・金融犯罪対策にご協力を

当金庫では、多発・多様化するマネー・ローンダリングや口座不正利用等の金融犯罪に対して、直面するリスクに応じて様々な対策を実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。